

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

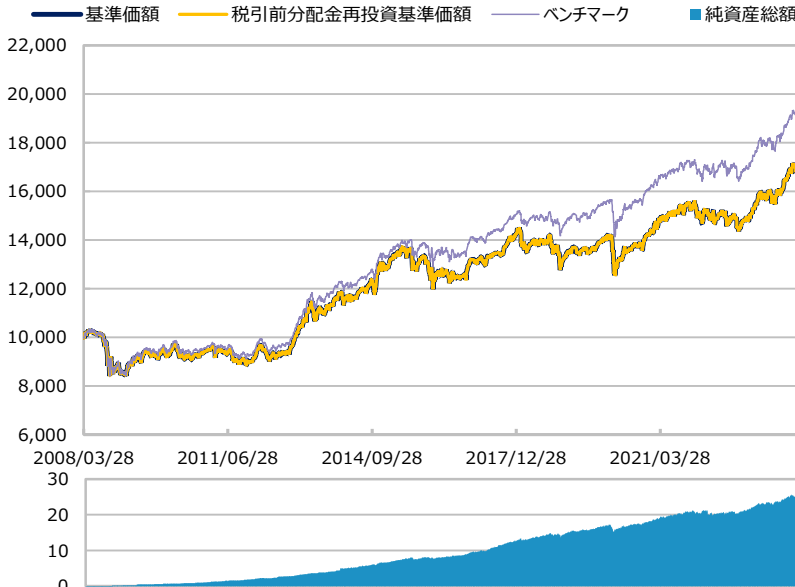
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

ファンド設定日：2008年03月31日

日経新聞掲載名：おまかせ

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、合成指数です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	17,076	-5
純資産総額（百万円）	2,555	+19

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1 カ月	2024/04/30	-0.0	-0.2
3 カ月	2024/02/29	1.4	0.9
6 カ月	2023/11/30	6.5	5.2
1 年	2023/05/31	10.6	9.1
3 年	2021/05/31	13.7	14.9
設定来	2008/03/31	70.8	92.2

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第12期	2020/04/13	0
第13期	2021/04/13	0
第14期	2022/04/13	0
第15期	2023/04/13	0
第16期	2024/04/15	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	基本配分	当月末	基本配分との差	前月比
株式計	30.0	42.1	+12.1	-0.2
国内株式マザー	20.0	24.2	+4.2	+0.2
外国株式マザー	10.0	17.9	+7.9	-0.5
債券計	65.0	56.7	-8.3	+0.3
国内債券マザー	50.0	41.9	-8.1	-3.5
外国債券マザー	15.0	14.9	-0.1	+3.8
現金等	5.0	1.1	-3.9	-0.1
合計	100.0	100.0	0.0	0.0

- ※ 現金等にはマネー・ファンドを含みます。
- ※ 各組入マザーファンドの正式名称は3枚目をご覧ください。

## 基準価額の変動要因（円）

	寄与額
国内株式	+47
外国株式	+68
国内債券	-123
外国債券	+1
為替	+12
分配金	0
その他	-10
合計	-5

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。  
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

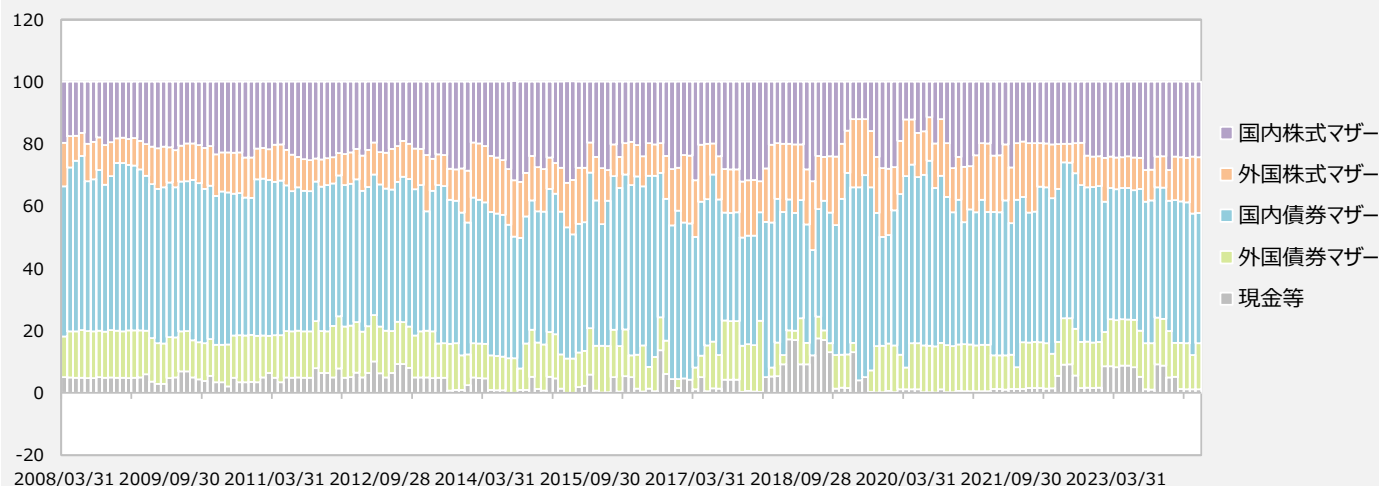


## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

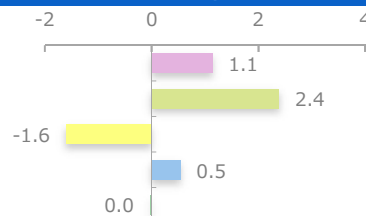
## 資産構成比率の推移（％）



## 組入投資信託の騰落率（％）

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
国内株式マザー	1.1	4.7	18.2	33.2	55.3	217.7
外国株式マザー	2.4	8.1	22.4	38.7	74.9	475.3
国内債券マザー	-1.6	-2.8	-2.8	-5.0	-7.7	14.5
外国債券マザー	0.5	3.7	7.0	13.9	17.9	77.5
マネー・ファンド	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	0.7

## 当月騰落率（％）



※ 国内株式マザーの正式名称は「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」です。

※ 外国株式マザーの正式名称は「外国株式インデックス・マザーファンド」です。

※ 国内債券マザーの正式名称は「国内債券パッシブ・マザーファンド」です。

※ 外国債券マザーの正式名称は「外国債券パッシブ・マザーファンド」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・インカム・マザーファンド」です。

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## ファンドマネージャーコメント

## ＜運用経過＞

月初は基本資産配分に対し、国内株式を小幅オーバーウェイト、外国株式をオーバーウェイト、国内債券を小幅アンダーウェイト、外国債券を小幅アンダーウェイト、現預金を小幅アンダーウェイトとしました。

下旬には米国を中心に景気が底堅く、米金利が底堅く推移し、円安が継続すると想定したため、外国債券をニュートラルとしました。

国内債券はオペ減額の思惑から金利上昇が続きやすいと判断し、アンダーウェイトに引き下げました。

## ＜今後の運用方針＞

米国のインフレが粘着的であることから、政策金利が引き締めの水準で当面維持されることや、これまでの利上げの累積効果が実体景気に及ぼす影響などが、リスク資産の重石となると考えています。

世界経済は、緩和的な財政政策、供給制約の解消、良好な雇用・所得環境が個人消費を下支えすると想定され、景気の大崩れは回避されるとみています。

投資スタンスについては、米国を中心に製造業に持直しの動きが見られているため、景気はソフトランディング（軟着陸）の可能性が高まったと想定し、ややリスクオン（リスク選好）とします。

今後も市場の動向に注意しながら、見通しに応じて機動的に投資配分比率を調整することで、安定的な収益の確保と信託財産の中期的な成長を目指します。

国内株式については、落ち込んでいた自動車生産の挽回や所得環境の改善などもあって今後プラス成長が見込まれることや、東証の要請を機に資本効率改善の動きが続いていることから小幅オーバーウェイトを維持します。

外国株式については、米国で堅調な雇用所得環境が持続して個人消費が拡大すると想定されることや、製造業に回復の動きが見られることからオーバーウェイトを維持します。

国内債券については、円安基調が続いていることや金融政策修正の思惑から金利に上昇圧力がかかりやすいと判断し、アンダーウェイトを維持します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	98.0	-0.1
先物等	2.0	+0.1
現金等	-0.0	+0.0
合計	100.0	0.0

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2024/04/30	1.1	1.2
3か月	2024/02/29	4.7	4.7
6か月	2023/11/30	18.2	18.1
1年	2023/05/31	33.2	33.1
3年	2021/05/31	55.3	55.2
設定来	2008/03/31	217.7	216.8

※ ベンチマークは、TOPIX（東証株価指数、配当込み）です。

## 組入上位10業種（%）

	当月末	前月比
1 電気機器	17.0	+0.0
2 輸送用機器	8.6	-0.5
3 銀行業	7.9	+0.5
4 卸売業	7.7	-0.1
5 情報・通信業	6.7	-0.1
6 機械	5.5	+0.0
7 化学	5.5	-0.1
8 サービス業	4.3	+0.0
9 医薬品	4.2	-0.0
10 小売業	4.0	-0.1

※ 業種は東証業種分類です。

## 組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 1,734）

銘柄	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	4.7
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.5
3 ソニーグループ	電気機器	2.3
4 日立製作所	電気機器	2.0
5 東京エレクトロン	電気機器	1.8
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.8
7 キーエンス	電気機器	1.8
8 三菱商事	卸売業	1.7
9 三井物産	卸売業	1.6
10 リクルートホールディングス	サービス業	1.5

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

## ＜市場動向＞

国内の株式市場は、上昇しました。

上旬は、米長期金利の上昇が一服したものの、政府・日銀による為替介入に対する警戒や3月期決算の国内企業が慎重な業績予想を示したことが重石となり、一進一退の展開となりました。中旬は、米インフレを巡る懸念が一旦和らいだことから、持ち直す展開となりました。ただし、米金融政策の先行きに対する警戒が残るほか、国内企業の決算発表において慎重な業績見通しを示す動きが続いたことが上値を抑えました。下旬は、米国で長期金利が再び上昇したことや、日銀の金融政策修正への思惑を受けて国内長期金利が上昇したことから、金融など一部の銘柄は堅調な値動きとなりました。しかし、全体としては上値の重い展開が続きました。

業種別では、保険業、その他製品、電気・ガス業などが市場をアウトパフォームした一方、不動産業、陸運業、パルプ・紙などがアンダーパフォームしました。

## ＜市場見通し＞

世界経済は、中国景気の先行きを巡る警戒などは残るものの、米景気は堅調さを持続しているほか、中国除く新興国、日本、欧州に持直しが見られるなど、総じて底堅く推移しています。日本についても、海外経済の底堅い推移に加え、賃金および物価の上昇による好循環に入りつつあることを支えに、堅調さを維持すると想定します。株式市場は、高値圏でのみみ合いを予想します。短期的には国内企業が示した慎重な業績見通しが重石になるほか、根強いインフレに伴う米金融引き締め長期化懸念、日銀の金融政策修正を巡る思惑などから、値動きが荒くなることも予想されます。ただし、企業業績の持続的な改善、企業統治改革進展、デフレからの脱却などに対する中長期的な期待は続くと考えられ、徐々に水準を切り上げていくと予想します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「国内債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（％）

	当月末	前月比
債券	99.7	-0.2
先物等	0.0	0.0
現金等	0.3	+0.2
合計	100.0	0.0

## 騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2024/04/30	-1.6	-1.6
3か月	2024/02/29	-2.8	-2.8
6か月	2023/11/30	-2.8	-2.8
1年	2023/05/31	-5.0	-5.0
3年	2021/05/31	-7.7	-7.8
設定来	2008/03/31	14.5	14.2

※ ベンチマークは、NOMURA-BPI（総合）です。

## ポートフォリオ特性値

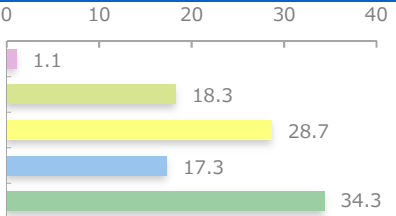
	当月末	前月比
クーポン（％）	0.9	-0.0
残存年数（年）	9.7	-0.0
デュレーション（年）	8.7	-0.1
直接利回り（％）	0.9	+0.0
最終利回り（％）	1.0	+0.2

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

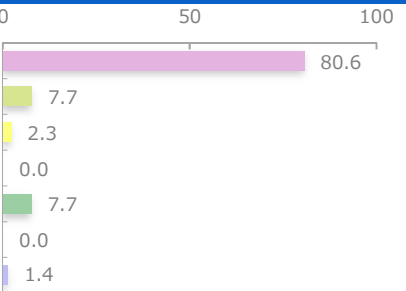
## 残存構成比率（％）

	当月末	前月比
1年未満	1.1	-0.8
1-3年	18.3	+0.1
3-7年	28.7	+0.3
7-10年	17.3	+0.3
10年以上	34.3	+0.0



## 種別構成比率（％）

	当月末	前月比
国債	80.6	+0.3
地方債	7.7	-0.3
政府機関債	2.3	-0.2
金融債	0.0	0.0
事業債	7.7	+0.0
円建外債	0.0	0.0
その他債券	1.4	-0.0



## 組入上位10銘柄

（組入銘柄数 425）

	銘柄	クーポン（％）	残存年数（年）	比率（％）
1	150 5年国債	0.005	2.6	2.3
2	165 5年国債	0.300	4.6	1.1
3	147 5年国債	0.005	1.8	1.0
4	149 5年国債	0.005	2.3	1.0
5	156 5年国債	0.200	3.6	1.0
6	154 5年国債	0.100	3.3	0.9
7	160 5年国債	0.200	4.1	0.9
8	148 5年国債	0.005	2.1	0.9
9	370 10年国債	0.500	8.8	0.9
10	367 10年国債	0.200	8.1	0.9

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「国内債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

## ＜市場動向＞

国内の長期金利（10年国債利回り）は、上昇しました。

月初は小動きで始まりましたが、連休明けに日銀総裁と首相が会談して以降、日銀からの発信がハト派（景気を重視する立場）的過ぎないものに軌道修正されたと市場が受け止めたことから、長期金利は上昇基調となりました。また、中旬に日銀が市場の予想外のタイミングで国債買入れの減額に踏み切ったことも、長期金利の上昇を後押ししました。その後も、さらなる国債買入れの減額や先行きの追加利上げへの警戒感が強く、月末にかけて長期金利の上昇基調が継続しました。

## ＜市場見通し＞

国内景気は足踏みしているものの、先行きはインフレ鈍化や賃金上昇が内需のサポートとなり、緩やかな回復基調に戻る見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、政策効果の剥落による一時的な上昇の後、輸入物価を起点とするコストプッシュ圧力の弱まりにより緩やかに減速基調となるものの、+2%程度の伸び率を維持できる見通しです。日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、物価安定の目標達成が視野に入らる中でさらなる利上げを行う可能性が高く、国債買入れも先行きは減額方向と見込まれることから、国内金利への上昇圧力がかかりやすいものと想定します。一方で、先行きの利下げを意識した欧米金利の動向は、国内金利の上昇幅を抑制する見込みです。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	97.3	-1.5
先物等	2.7	+1.4
現金等	0.0	+0.1
合計	100.0	0.0

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2024/04/30	2.4	2.4
3か月	2024/02/29	8.1	8.2
6か月	2023/11/30	22.4	22.5
1年	2023/05/31	38.7	39.0
3年	2021/05/31	74.9	75.9
設定来	2008/03/31	475.3	489.0

※ ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

## 組入上位5カ国・地域（%）

	当月末	前月比
1 アメリカ	70.9	-1.1
2 イギリス	3.8	-0.1
3 カナダ	3.2	-0.1
4 フランス	3.0	-0.1
5 スイス	2.9	+0.0

## 組入上位5通貨（%）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	73.5	-1.2
2 ユーロ	9.1	-0.2
3 イギリスポンド	4.1	-0.1
4 カナダドル	3.1	-0.1
5 スイスフラン	2.6	+0.0

## 組入上位5業種（%）

	当月末	前月比
1 ソフトウェア・サービス	9.2	-0.5
2 半導体・半導体製造装置	9.1	+0.9
3 医薬品・バイオテクノロジー	7.7	-0.1
4 資本財	7.0	-0.2
5 メディア・娯楽	6.5	+0.0

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

## 組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 1,251）

銘柄	国・地域	業種	比率
1 マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.7
2 アップル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	4.5
3 エヌビディア	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.4
4 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7
5 メタ・プラットフォームズ	アメリカ	メディア・娯楽	1.7
6 アルファベット クラスA	アメリカ	メディア・娯楽	1.6
7 アルファベット クラスC	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
8 イーライリリー	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.1
9 ブロードコム	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.0
10 JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	アメリカ	銀行	0.9

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

## ＜市場動向＞

米国株式市場は上昇しました。金融政策に対する警戒感が広がっていたものの、FOMC（米連邦公開市場委員会）でパウエル議長が利上げ再開に対して否定的な見解を示したことを好感しました。雇用統計は市場予想よりも弱い内容となったことから、早期の利下げ期待も浮上し、株式市場の押し上げ要因となりました。中旬にS&P500インデックスが史上最高値を更新した後は、材料出尽くし感から上値の重い展開となりました。月を通じて見ると、AI関連市場の成長により好決算を発表したエヌビディアなどを中心に、ナスダック総合指数の上昇が目立ちました。

欧州株式市場は上昇しました。ドイツの景況感など域内景気に対する見方が改善するとともに、ECB（欧州中央銀行）の利下げ期待の高まりも押し上げ要因となりました。

（為替）米ドル/円は、一進一退となりました。月初、急速に円高が進んだことから、政府・日銀が円買い介入に踏み切ったとの観測が広がりました。しかし、日米の金利差は依然大きいままとの見通しから徐々に米ドルが買い戻され、月末には前月末と概ね同水準となりました。

ユーロ/円は、上昇しました。月初は米ドル/円の急激な下落を受けてユーロ/円も下落しましたが、その後ECB高官のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な発言などを受けて上昇に転じました。

## ＜市場見通し＞

米国株式市場では、企業業績は大型テクノロジー企業で概ね好調が持続しており、製造業でも回復傾向が徐々に明らかとなっています。インフレの再加速が見られない限り、こうした業績の回復に伴って、株式市場はレンジが切り上がる動きを予想します。ただし、先々の利下げや企業業績の回復は徐々に株価に織り込まれつつあり、大統領選に向けた政治的不透明感の高まりが警戒される場面も想定されることから、上昇基調は緩やかにとどまるとみています。

欧州株式市場も、物価上昇への対処が目途が付きつつあり、ECBによる利下げの実施が予想されます。中国の政策対応や域内景気の安定化が支援材料となることから上昇の維持は可能とみています。

（為替）米ドル/円は、日米金利差が依然大きいため、当面米ドルは高値圏で推移する展開が予想されます。その後は、FRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ開始や日銀による追加利上げが想定されることから、年末にかけて緩やかな米ドル安・円高となる展開を予想します。

ユーロ/円は、当面ユーロは高止まりが予想されるものの、その後は、ECBによる利下げや日銀による追加利上げが想定されることから、年末にかけて緩やかなユーロ安・円高となる展開を予想します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
債券	98.8	-0.7
先物等	0.0	0.0
現金等	1.2	+0.7
合計	100.0	0.0

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2024/04/30	0.5	0.6
3か月	2024/02/29	3.7	3.7
6か月	2023/11/30	7.0	7.1
1年	2023/05/31	13.9	14.0
3年	2021/05/31	17.9	18.1
設定来	2008/03/31	77.5	79.2

※ ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。

## ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン（%）	2.5	+0.0
残存年数（年）	8.2	-0.0
デュレーション（年）	6.3	-0.1
直接利回り（%）	2.7	+0.0
最終利回り（%）	4.0	-0.0

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 組入上位5通貨（%）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	46.4	-0.4
2 ユーロ	31.2	-0.5
3 中国元(オフショア)	9.5	+0.2
4 イギリスポンド	5.1	+0.0
5 カナダドル	2.0	-0.0

## 組入上位5カ国・地域（%）

	当月末	前月比
1 アメリカ	46.4	-0.4
2 中国	9.5	+0.2
3 フランス	7.8	-0.1
4 イタリア	7.2	-0.1
5 ドイツ	6.1	-0.2

## 組入上位10銘柄

（組入銘柄数 736）

銘柄	通貨	クーポン（%）	残存年数（年）	比率（%）
1 アメリカ国債	アメリカドル	1.625	2.0	0.9
2 中国国債	中国元(オフショア)	2.390	2.5	0.8
3 アメリカ国債	アメリカドル	2.250	1.8	0.6
4 中国国債	中国元(オフショア)	2.690	2.2	0.6
5 中国国債	中国元(オフショア)	3.720	26.9	0.5
6 アメリカ国債	アメリカドル	0.625	3.6	0.5
7 中国国債	中国元(オフショア)	3.020	7.0	0.5
8 中国国債	中国元(オフショア)	2.400	4.1	0.5
9 アメリカ国債	アメリカドル	3.875	9.2	0.5
10 アメリカ国債	アメリカドル	3.500	8.7	0.5

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

## ＜市場動向＞

米国では、長期金利（10年国債利回り）は低下しました。月前半はFOMC（米連邦公開市場委員会）後のパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の記者会見の内容が市場予想ほどタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的ではなかったことに加え、雇用統計での雇用者数や賃金の伸びが市場予想を下回ったことなどから金利は低下しました。月後半には、市場がFOMC議事要旨の内容をタカ派的と捉えたことや、経済指標が市場予想を上回ったことなどを背景に金利は上昇し、月中の低下幅を縮めました。

ユーロ圏では、長期金利（ドイツ10年国債利回り）は上昇しました。米金利の低下に連動して金利低下する局面もありましたが、独PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を上回ったことやECB（欧州中央銀行）高官のタカ派的な発言などを背景に金利は上昇しました。

（為替）米ドル/円は、一進一退となりました。月初、急速に円高が進んだことから、政府・日銀が円買い介入に踏み切ったとの観測が広がりました。しかし、日米の金利差は依然大きいままとの見通しから徐々に米ドルが買い戻され、月末には前月末と概ね同水準となりました。

ユーロ/円は、上昇しました。月初は米ドル/円の急激な下落を受けてユーロ/円も下落しましたが、その後ECB高官のタカ派的な発言などを受けて上昇に転じました。

## ＜市場見通し＞

米国では、足元の雇用・インフレ統計を受け利上げ再開懸念は後退したものの、インフレ鈍化は道半ばであり、当面金利はもみ合う展開を予想します。その後は、これまでの金融引き締めによる効果からインフレ鈍化と景気減速が徐々に進むことでFRBによる利下げ開始が想定され、年末にかけて金利は緩やかに低下する展開を予想します。

ユーロ圏では、これまでの金融引き締めによる効果からインフレ鈍化と景気減速が徐々に進むことでECBによる利下げが想定され、金利は緩やかに低下していくと予想します。

（為替）米ドル/円は、日米金利差が依然大きいいため、当面米ドルは高値圏で推移する展開が予想されます。その後は、FRBの利下げ開始や日銀による追加利上げが想定されることから、年末にかけて緩やかな米ドル安・円高となる展開を予想します。

ユーロ/円は、当面ユーロは高止まりが予想されるものの、その後は、ECBによる利下げや日銀による追加利上げが想定されることから、年末にかけて緩やかなユーロ安・円高となる展開を予想します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

※ このページは「マネーインカム・マザーファンド」の情報を記載しています。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
債券	60.1	-5.2
先物等	0.0	0.0
現金等	39.9	+5.2
合計	100.0	0.0

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1か月	2024/04/30	-0.0	0.0
3か月	2024/02/29	-0.0	0.0
6か月	2023/11/30	-0.0	0.0
1年	2023/05/31	-0.1	-0.0
3年	2021/05/31	-0.1	-0.1
設定来	2008/03/31	0.7	0.6

※ ベンチマークは、無担保コール翌日物を指します。

## ポートフォリオ特性値

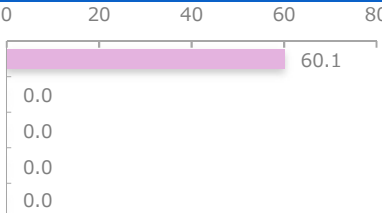
	当月末	前月比
クーポン（%）	0.3	-0.0
残存年数（年）	0.2	-0.0
デュレーション（年）	0.2	-0.0
直接利回り（%）	0.3	-0.0
最終利回り（%）	0.1	+0.2

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

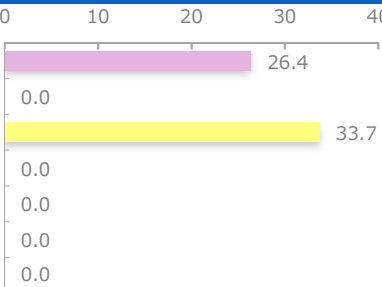
## 残存構成比率（%）

	当月末	前月比
1年未満	60.1	-5.2
1-3年	0.0	0.0
3-7年	0.0	0.0
7-10年	0.0	0.0
10年以上	0.0	0.0



## 種別構成比率（%）

	当月末	前月比
国債	26.4	+2.2
地方債	0.0	0.0
政府機関債	33.7	-7.4
金融債	0.0	0.0
事業債	0.0	0.0
円建外債	0.0	0.0
その他債券	0.0	0.0



## 組入上位10銘柄

（組入銘柄数 8）

銘柄	クーポン（%）	残存年数（年）	比率（%）
1 220 政保道路機構	0.644	0.1	11.2
2 1226国庫短期証券	0.000	0.9	11.2
3 337 10年国債	0.300	0.6	8.4
4 335 10年国債	0.500	0.3	6.7
5 225 政保道路機構	0.556	0.2	5.6
6 222 政保道路機構	0.601	0.2	5.6
7 31 政保日本政策	0.544	0.3	5.6
8 64政保地方公共団	0.544	0.3	5.6

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## ファンドの特色

- 日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産に分散投資することにより、信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。実際の運用は、各資産に投資する5つのマザーファンドへの投資を通じて行います（ファミリーファンド方式）。

国内株式	国内株式インデックス・マザーファンド（B号）
国内債券	国内債券パッシブ・マザーファンド
外国株式	外国株式インデックス・マザーファンド
外国債券	外国債券パッシブ・マザーファンド
短期金融資産	マネーインカム・マザーファンド
  - 委託会社が独自に作成する基本資産配分に対し、一定の許容変動幅内で機動的に資産配分を変更します。基本資産配分は、5年に一回程度検証を行い、必要であれば見直しを行います。
  - 運用にあたっては、基本資産配分に基づいて、以下の指数を合成したベンチマークを上回る投資成果を目指します。

国内株式20%	TOPIX（東証株価指数、配当込み）
国内債券50%	NOMURA-BPI（総合）
外国株式10%	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
外国債券15%	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）
短期金融資産5%	無担保コール翌日物

※基本資産配分の見直しに伴い、ベンチマークの合成比率の見直しも行います。
  - 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

## ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## 投資リスク

## ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

## ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

## ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## お申込みメモ

## 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

## 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

## 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

## 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

## 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

## 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 信託期間

無期限（2008年3月31日設定）

## 決算日

毎年4月13日（休業日の場合は翌営業日）

## 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

## 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。





## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## ファンドの費用

## 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
ありません。
- 信託財産留保額  
ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に年0.649%（税抜き0.59%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

## 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

## 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

## 委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ： <https://www.smd-am.co.jp>

コールセンター： 0120-88-2976 【受付時間】 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

## 販売会社

ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。



## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○		※1
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○					※2
株式会社SBI新生銀行（SBI証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1 ※3
株式会社SBI新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1 ※2
三井住友DSアセットマネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号		○	○		○	

## 備考欄について

※1：ネット専用※2：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※3：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券

## ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- ベンチマークは、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）、無担保コール翌日物の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しています。

TOPIX（東証株価指数）は株式会社JPX総研、NOMURA-BPIは野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社、MSCIコクサイ・インデックスはMSCI Inc.、FTSE世界国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCが、それぞれ公表している指数です。

各インデックスに関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は、指数を公表および許諾する各社に帰属します。また、当該各社は当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。

## SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年05月31日

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.